

～花、みどり 笑働 OSAKA～

泉佐野丘陵緑地 フォーラム

平成24年**2月4日** 土 14:00～16:30

参加費 無料

プログラム

基調講演

「新しい公共、泉佐野丘陵緑地への挑戦」

増田 昇(大阪府立大学大学院教授)

事例紹介

「泉佐野丘陵緑地事業の紹介」 窪田 誠(大阪府岸和田土木事務所 所長)

「パーククラブ活動状況について：郷の便り」 殿元 日出夫(泉佐野丘陵緑地パーククラブ 会長)

パネルディスカッション

「新しい公共が育む都市公園の魅力づくり」

コーディネーター：増田 昇 (大阪府立大学大学院 教授)

パネラー：清野 博子(元読売新聞 編集委員)

澤木 昌典(大阪大学大学院 教授)

忽那 裕樹(大阪市立大学・立命館大学・関西大学 非常勤講師)

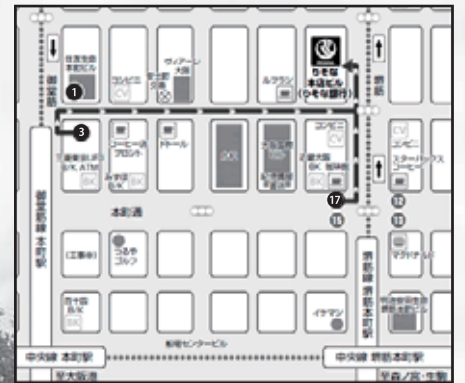
殿元 日出夫(泉佐野丘陵緑地パーククラブ 会長)

会場

りそな銀行大阪本社ビル
地下2階講堂

大阪府中央区備後町2丁目2-1

駐車場は、ございませんので
公共交通機関をご利用ください。



御堂筋線本町駅③出口、堺筋線堺筋
本町⑭出口から徒歩5～1.0分

大阪府では、それぞれの地域に根付いた「協働」の輪を広げて、人と地域が強く結びつき、産公民学が連携しながら、さらに多くの府民の共感を得て、真に魅力ある大阪の実現を目指し、笑顔と感謝をキーワードに笑働 OSAKA をすすめています。

(仮称) 泉佐野丘陵緑地は、計画段階から、府民の皆様と一緒に事業を進める全国初の「シナリオ型の公園づくり」に取り組んでいます。この取組みは、企業、住民、行政が一体となった新しい公共です。整備に着手してから経過した 3 年を振り返り、これまでの整備経過を幅広く発信するとともに、笑働 OSAKA をさらにすすめていくために本フォーラムを開催するものです。

講演者・パネラープロフィール



増田 昇

(大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授)

77 年に大阪府立大学大学院農学研究科修士課程を修了。77-85 年市浦都市開発建築コンサルタンツ勤務、85 年大阪府立大学農学部助手、講師、助教授を経て、97 年に教授になり現在に至る。専門はランドスケープ・アーキテクチャー（緑地計画学）。日本造園学会会長、日本都市計画学会理事、大阪府や大阪市等の景観審議会、都市計画審議会、森林審議会等の委員を勤める。泉佐野丘陵緑地運営会議委員長。

清野 博子 (元読売新聞 編集委員)

1965 年京都大学卒。1965—2002 年読売新聞大阪本社に勤務。編集委員時代に、園芸植物を中心に「life 自然流」というページを企画・編集。2003—2007 年吹田市助役。2007—2010 年ドーンセンター館長。泉佐野丘陵緑地運営会議アドバイザー。

澤木 昌典 (大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 教授)

1982 年(財)関西情報センター、1990 年同左主任研究員、1991 年兵庫県教育委員会社会教育・文化財課技術職員、1992 年兵庫県立人と自然の博物館研究員、同年姫路工業大学自然・環境科学研究所助手などを経て現職。泉佐野丘陵緑地運営会議アドバイザー。

忽那 裕樹 (大阪市立大学・立命館大学・関西大学 非常勤講師)

ランドスケープデザイナー。株式会社 E-DESIGN 代表。景観デザインやまちづくりなどを幅広く手掛ける。主な作品に「千里リハビリテーション病院」(GOOD DESIGN 賞受賞)「近畿大学洗心の庭」(造園学会奨励賞受賞)など。水都大阪 2011 フェスではディレクターとして活躍。

殿元 日出夫 (パーククラブ会長)

泉佐野出身、大阪府立泉南高校を卒業後、海上自衛隊に入隊。大阪の訪問販売業に 5 年間、福井県敦賀市の食品スーパーに 4 年間、友人と環境関係の仕事起業したり、福井県の小さな IT 企業の役員をする。60 歳ですべて清算。座右の銘「兵労学遊」に従って、労の面でボランティア活動に参加。

連絡先・お申し込み先

大阪府公園課府営公園グループ 松本・島・田口 電話 06-6941-0351(内線 2978) FAX 06-6944-6796

フォーラム参加申し込み

※ 必要事項を記入して FAX でお申し込みください。FAX 06-6944-6796

先着 100 名 1 月 31 日締め切り

氏名	住所	Tel.
氏名	住所	Tel.
氏名	住所	Tel.
氏名	住所	Tel.
氏名	住所	Tel.